

## 早稲田大学 人間科学部 化学 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	5と7は高校の教科書の範囲外である。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	小問集合	分離操作、コロイド、反応速度、結合エネルギー、平衡定数、電気分解	標準
	小問集合	塩化コバルト、有機化合物の分子構造、物質量の計算、同位体の存在比	標準
2	小問集合	鉄、粗銅、電気分解、電気泳動	標準
3	有機	C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> O <sub>5</sub> のエーテル	やや難
4	有機	分子の持つエネルギーと安定性、配座異性体、幾何異性体	標準
5	有機	アセトアルデヒド、銀鏡反応、ヨードホルム反応	標準
6	有機	低密度ポリエチレン、高密度ポリエチレン、光の透過性	やや難

### 〔総合コメント〕

標準的な問題が中心で、化学の基礎知識が十分ならば対応できる。ただし、例年、有機化学の問題では思考力を必要とするかなり難しい問題が出題されるので、有機に関しては応用力が必要。今年は5の分子の持つエネルギーと安定性や7の高分子の光の透過性などが思考力を必要とする応用問題であった。